



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のこぼ 「アメリカのパリ協定離脱について」

理事 波多野正幸

最近のニュースで米国のトランプ大統領が 2020 年以降の地球温暖化対策「パリ協定」を離脱宣言がありました。離脱理由は、「米国と米国民を守る任務を果たす、米国に不利な合意、他の国々が利益を得て、コストを負担させられる、職を失い、賃金が下がり、工場が閉鎖させられる。緑の気候基金への拠出もやめる。汚染に加担する国々を規制せず、中国は温暖化ガスの排出を増やし、インドは石炭生産を倍増する」でした。これに対して、トランプ米大統領の離脱声明に、誤解や誇張が多いとの指摘が多い。ヨーロッパの各国政府などが、「ファクトチェック（事実検証）」で反論した。

トランプ大統領の理念より自国の実利を強調し、目先の利益を優先した時代錯誤な認識に、将来のために広い視野と見識の正確性と大切さを一層感じました。

6 月度 第 166 回理事会、第 15 回通常総会、第 166 回臨時理事会 報告

《第 166 回理事会》

- 1. 月島環境エンジ業務支援契約更新の件 → 可決承認
- 2. 事業案件情報源の拡大取進めの件 → 可決承認
- 3. 第 15 回総会議事要領の件 → 可決承認
- 4. 準会員入会の件(入鹿山氏) → 報告了承
- 5. 10 月会員交流会開催場所の件 → 報告了承
- 6. H29 年 5 月度会計収支報告の件 → 報告了承

《第 15 回通常総会》

- 1. H28 年度事業報告、収支決算及び財産目録の件 → 可決承認
- 2. H29 年度事業計画及び収支予算の件 → 可決承認
- 3. 役員選任の件 → 可決承認

《第 166 臨時理事会》

- 1. 理事長選出の件 → 可決承認
- 2. 第 15 回通常総会議事録承認の件 → 可決承認
- 3. H29 年度体制の件 → 可決承認

事業報告 業務支援事業部会 (グループ 2 G2)

担当理事 波多野正幸

第 16 期の新年度が始まり第一四半期 (1Q) が終わりました。今期の G2 は先期 (15 期) の同時期の約 2 倍で順調な滑り出しです。1Q の成行を見ると従来の販売支援業務、技術支援業務、教育研修の分野で実績が出来つつあります。特に、今期の活動では、継続事業の安定化、事業案件の拡大のために東京都内の窓口との連携、ビジネスチャンスナビへの登録、など情報窓口を拡大の活動を進めます。また先期から取り組んでいる教育研修事業について、SEF 会員の経験、専門的知見を生かした教育研修分野の事業開拓を加速する為に、会員の得意分野を抽出し、相互の連携強化をして幅広く展開します。更に取引会社、賛助会員との定期的情報交換、PR 活動の活発化や、見学会、研究会を通して会員の情報、知見を磨き、自己研鑽と共に事業支援の拡大に役立つ事を期待しています。

SEF サロン 第 100 回案内

担当理事 白崎善宏

《 第 100 回 : 案内 》

日時 : 2017 年 7 月 26 日 (水) 18 時 場所 : 青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」

演題 : 「北朝鮮の最近の動向及び我が国の防衛」

講師 : 小宮 希美氏 (株) ビザスク VQ 事業リサーチマネージャー、
元内閣官房副長官補 (事態対処・危機管理担当) 付

北朝鮮による核開発問題をめぐる最近の主な動きや、弾道ミサイル開発に関する動向と見通しについて、公開資料をベースにお話しされます。また、このような北朝鮮からの脅威に対して、防衛省・自衛隊として日頃からどのような備えを行い、今後どのような体制を整備しようとしているのか、また、我が国にも差し迫りつつある北朝鮮からの脅威に対し、国民として、いかなる対応を取ることができるのか、政府の現状の施策等をご紹介されます。直接担当されていた方から拝聴できるこの貴重な機会に、皆様には是非参加されますよう、お誘いします。

6 月度会員動向

会員入退会
 準会員入会 入鹿山氏

7 月 1 日 会員数
 正会員-31 名、準会員-35 名、賛助会員-2 社